城南一休寺

川田順

戰ひに負けた汝等ようまあ来たと一休ぜんじ片笑(かたゑ)ますらし

寺の門に俯く枝のくわりん(だいだい)の果友の畫工(ゑかき)はたちまち寫す

樸樕の果を橙のやうに描くなか北蛇足の弟子の禪師が見ます

「光」正月号

大阪新聞社出版局

濡縁をまはりて北のながめ寒し刈田のはてに木津川ながる

應仁の乱れたる世をここにゐてつくりたまひし納豆の味